

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	母親教室			事業コード	0309
担当課等	所属名	市保健所 健康推進課		担当係名	
	課長名	健康推進課 津志田 和彦	担当者名	市保健所 健康推進課 小笠原 富子	電話番号 691-6214

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	みんなで支える子育て支援の展開	コード 6
	基本事業	母子保健・予防の推進	コード 3	関連予算 費目名	一般会計 04款03項02目 母子保健事業(002-01)	
	特記事項	総合計画主要事業				
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒(開始年度 昭和49年度～)					
事務事業の概要	妊娠・出産・育児についての知識を普及し、父親・母親の役割や共に協力して子育てすることを学ぶ。また、核家族や転勤族が増えていることから、妊婦同士で情報交換をしながらお互いに支援しあう仲間づくりを目的にしている。					
根拠法令等	母子保健法第9条					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
母子保健法に基づく。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
20年度の重点配分施策となっている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
少子化、核家族化等の進行や転入者が多い当市の特性から、育児体験の乏しい保護者の増加、身近に相談できる近親者の不在などから育児環境の孤立化が危惧される。最近では、夫婦で子育てをしている状況から、夫婦で教室に参加を希望する傾向がみられ、子どもに接したり抱っこした経験のない世代のため、赤ちゃんの抱っこ、沐浴実習など体験型の要望が多く、参加者からの評価も高い。初妊婦では今後も参加を希望していく傾向は続いていくため、医療機関等で実施している内容と重複しないよう検討しながら教室のスリム化を図っていく必要がある。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	初妊婦とその家族(夫や祖父母など)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 初妊婦数 B. 初妊婦の夫の数 C.	単位 人 単位 人 単位 人
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) <手順> ◆年間スケジュール、プログラムを作成 ◆参加者募集(プログラムを妊婦相談窓口で配付及び広報・ホームページに掲載) ◆2日間コース(平日開催)、1日コース(日曜日開催) <内容> ◆保健師・助産師・栄養士・歯科衛生士による講話。妊娠中の健康管理やお産のリハーサル、沐浴、調理などの実習や新米パパの妊婦体験など。実際の赤ちゃん抱っこ。参加者同士の情報交換。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 22年度と同様。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. プログラムの配布枚数 B. 「母親教室」他各コースの実施回数 C. 受講者数 妊婦・夫・両親(祖父母)等	単位 枚 単位 回 単位 人
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	◆妊娠、出産、育児の知識を増やすことで不安が軽減し安心して出産に望むことができる。また、夫(父親)の子育て意識が高まり、積極的に育児に参加・協力することができる。 ◆参加者同士が妊娠・出産・育児について情報交換・共有し、また共感を持てることで話し合える仲間ができ、相互支援となる。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 妊娠・出産・育児についての知識が増えたと答えた妊婦の割合 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】 B. 妊娠・出産・育児についての意識が高まったと答える夫や家族の割合 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】 C. 出産や育児に関して話ができる仲間ができたと答える妊婦の割合 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位 % 単位 % 単位 %
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	健康が保たれる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	3歳児健康診査受診率(単位:%) 妊婦健康診査受診率(単位:%)	

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	初妊婦数	人	1202	1200	1200	1303	1303	1303	26年度 1303
対象 指標B	初妊婦の夫の数	人	1202	1200	1200	1303	1303	1303	26年度 1303
対象 指標C									年度
活動 指標A	プログラムの配布枚数	枚	1202	1200	1200	1303	1303	1303	26年度 1303
活動 指標B	「母親教室」他各コースの実施回数	回	24	24	24	24	24	24	26年度 24
活動 指標C	受講者数 妊婦・夫・両親(祖父母)等	人	456 336 26	457 336 20	460 340 25	429 315 32	450 330 20	450 330 20	26年度 450 330 20
成果 指標A	妊娠・出産・育児についての知識が増えたと答えた妊婦の割合	%	100	99.3	100	99.2	100	100	26年度 100
成果 指標B	妊娠・出産・育児についての意識が高まったと答える夫や家族の割合	%	100	100	100	99.2	100	100	26年度 100
成果 指標C	出産や育児に関して話ができる仲間ができたと答える妊婦の割合	%	64	78	70	64	100	100	26年度 100

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	390	484	484	484	501	501	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	390	484	484	484	501	501	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	390	484	484	484	501	501	*****
	延べ業務時間数	時間	980	980	980	980	980	980	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	3,920	3,920	3,920	3,920	3,920	3,920	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	4,310	4,404	4,404	4,404	4,421	4,421	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 不安が軽減することで、心身が健康な状態で妊娠・出産・育児が積極的に行なえる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input checked="" type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 妥当である	理由: 民間の業者に委託しての実施も可能。ただし、現存の機関には、妊娠期から出産を経て育児に至る総合的な指導・相談に応じられる体制はない。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくていいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 近年参加者数が増加傾向にある休日コースの改善を図ることで、向上が期待できる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 妊娠・出産の知識がなく不安を持って出産・子育てに臨むことは、母体管理がなされずハイリスク出産の危険性が高まり、母性のはぐみを妨げ、育児不安を増悪させることが予想される。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 各医療機関では母親教室を実施していない所もあり、医療機関により内容が異なっている。 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input checked="" type="radio"/> できる <input type="radio"/> できない
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 20年度から教室を一部合同開催して、効率化を図っており、今後は、半日単位の教室開催などに移行していく。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: H20年度から教室を一部合同開催とし効率化を図っており、今後は、半日単位の教室開催などに移行していく。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 初めての妊娠、出産を迎えるため知識・技術の習得の必要性や受講そのもののニーズが高い初産婦を対象者に行っていることは、目的妥当性からみても公平・公正である。また、受講妊婦から夫や家族、その周囲へと出産・育児に関する知識や意識が伝えられることで、受講者のみにとどまらない波及効果がある。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 受益者負担は、参加者の減少につながり目的達成に影響することから、最低限の負担(プログラムの中で個人が使用する歯ブラシやティッシュペーパー等の消耗品は自己負担させている)に抑えなければならない。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 民間の教室内容と重複しないよう検討し、1日コースは日曜日開催のため夫婦での参加が容易なため変更は難しいが、平日コースは、内容を見直し24年度の実施に向けて教室のスリム化を図っていく。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) ・既存の民間の教室には、本事業ほど体系的に整った形で実施されているところはなく委託は考えにくい。教室内容など関係機関や医療機関等の意見を聞きながらスリム化を検討し、変更等にあたっては周知を図っていく必要がある。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり	③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>本事業の民間委託について、今のところプログラムの全過程を受託できる業者は見当たらないが、部分的に協働実施も含め検討していく必要がある。</p>
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止							
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携												
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止													
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>委託可能な民間業者がなく、難しい状況にあるが、部分的に民間の力を導入する方法も含めて研究していく必要がある。</p>														